

新型コロナウイルス対応のその後

教育活動を行うにあたり、「茨木支援学校 新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」（以下、「マニュアル」という）を基に感染対策を行ってきました。日々、状況を見ながらマニュアル更新を行いました。

• 2学期以降の教育活動と感染拡大防止策のイメージ（資料1）

大阪モデルを手本にし、禁止事項を表にして提示しました。授業を展開する上で統一した対応、またどのようにして感染症対策をするのか健康安全部で話し合い作成しました。

• ごみ捨てについて（資料2）

体液などがついたごみを捨てる場合、ウイルスの飛散を防ぐため、ビニール袋を密閉して捨てることを基本としていました。教室にふたつきごみ箱を購入し設置したため、ごみの捨て方についてふたつきごみ箱とふたなしごみ箱両方での捨て方についてまとめたものを提示しました。

• 校内などの消毒（資料3）

新しくマニュアルを更新した部分を をつけて、再度提示しました。大きく変更したところはなく、さまざまな形で消毒作業ができるようにしました。

• レッドステージにおける教育活動と感染症対策について（資料4）

「2学期以降の教育活動と感染拡大防止策のイメージ（資料1）」を提示したときは、大阪モデルがレッドステージの場合は分散登校を視野に考えていました。しかし、国や大阪府の指針変更により、禁止事項の内容を検討し更新しました。

• スクールサポーター

9月より、3名のスクールサポーターの方に来ていただいています。主に、校内の共有スペースなどの消毒（児童生徒の在校時間帯には界面活性剤を使用）を行っていただいています。また、次亜塩素酸ナトリウムの希釈液の作成、防護具エプロンの作成、放課後に消毒液の補充作業も行っています。



・足踏み式消毒液スタンド

箕面支援学校の用務員さんが手作りした、足踏み式の消毒スタンドを寄付していただきました。多くの方が利用できるよう、玄関に設置しています。



このように、本校の実情に合わせた形で日々対策を行っています。児童生徒の安全、衛生管理の保持を保てるよう今後も取り組んでいきます。